

安曇野市

令和5年度地域計画策定に伴う農地に関する
意向調査結果（土地所有者向け）

安曇野市総括

安曇野市農林部農政課

安曇野市農業委員会事務局

調査の概要

1 調査の目的

地域計画の策定にあたり土地所有者の意向を確認し、計画に反映することを目的とする

2 調査の概要

1) 調査対象者

令和5年7月末時点で安曇野市農業委員会の農地台帳に記載されている地権者のうち、500㎡以上の農地を所有している世帯の代表者

2) 調査方法

令和5年10月1日から10月30日を回答期間とし、郵送により調査書を配布し、返信用封筒により回収

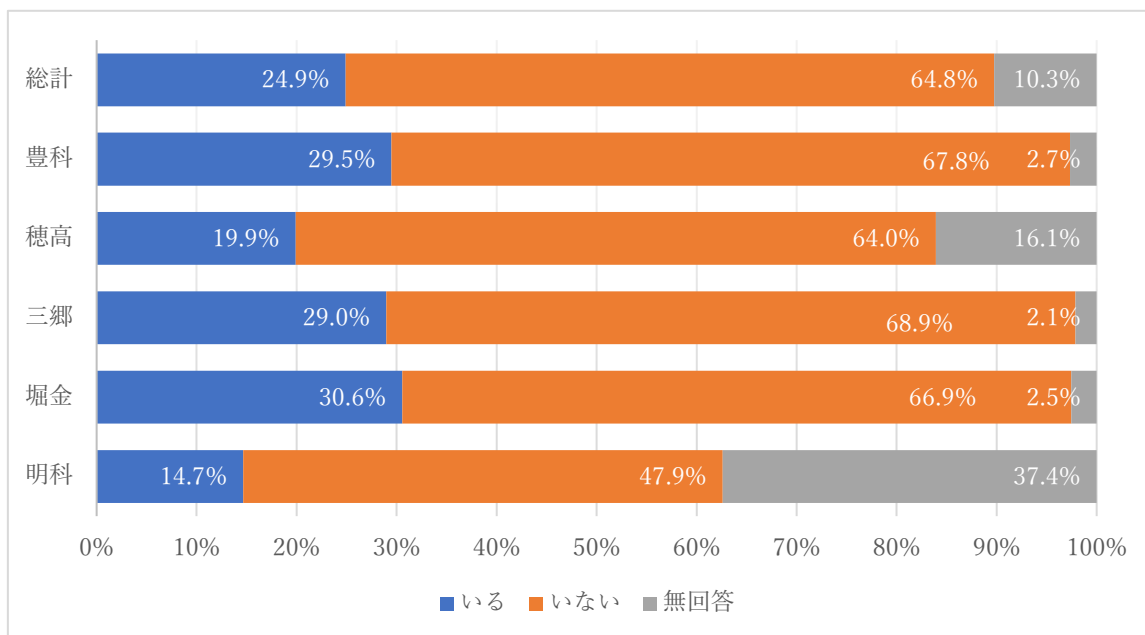
3) 回収結果

配布票数：9,804件/回収票数 5,661件/回収率 57.7%

4) 集計上の留意点

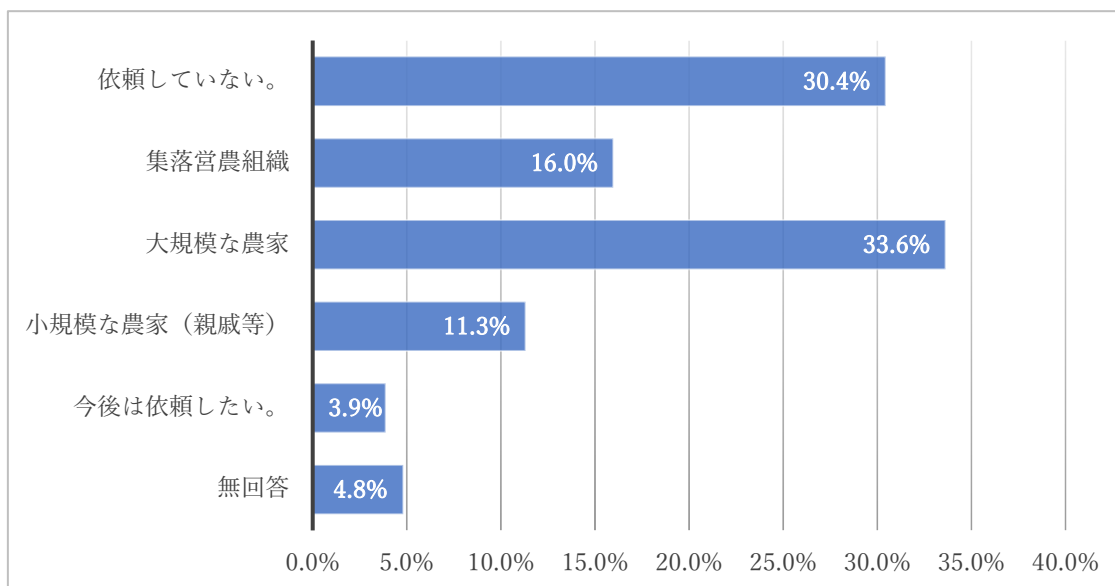
- ① 横棒グラフを用い、原則として回答率を値としています。ただし、回答総数が少ない設問については、回答数を値としています。
- ② 回答不要、複数回答となる設問については、無回答を含めずに集計しています。
- ③ 回答率は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで表記しました。そのため合計が100%とならない場合があります。
- ④ 複数回答では、回答総数を100（%ベース）として、それぞれの回答数の割合を百分率で示してあります。したがって割合の合計は100%になりません。

問1 農業後継者はいらっしゃいますか。(総数：5,661)



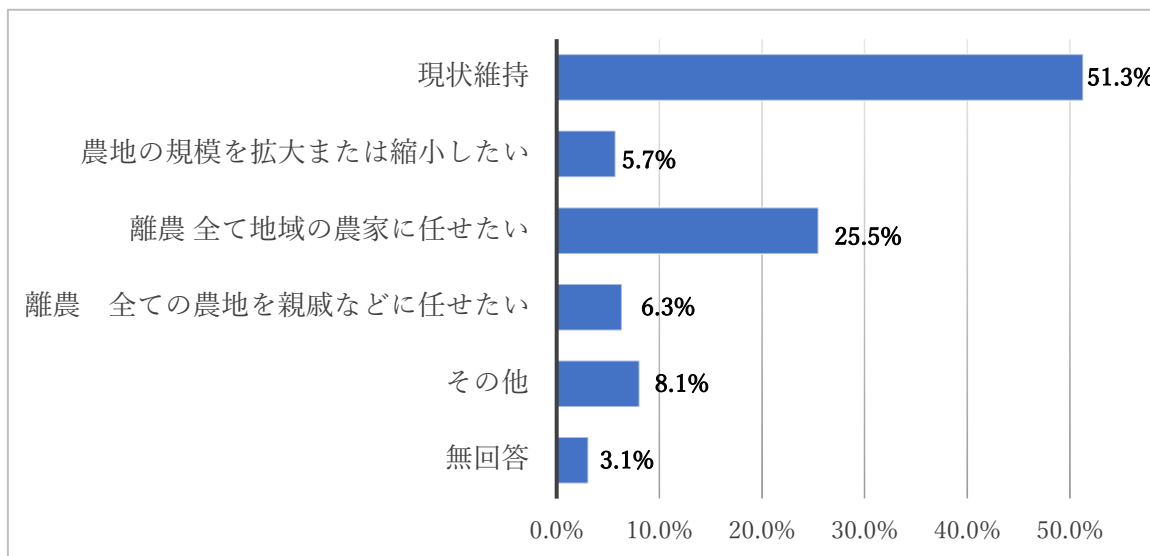
市全体で「後継者がいない」が64.8%と多数であった。地区別では「後継者がいる」と最も回答が多かったのは堀金地域で30.6%、最も少なかったのは明科地域で14.7%であった。明科地域は無回答の割合が他地域と比較して大きかった。

問2 他の農家へ農作業（一部、全部）を依頼していますか。(総数：5,661)



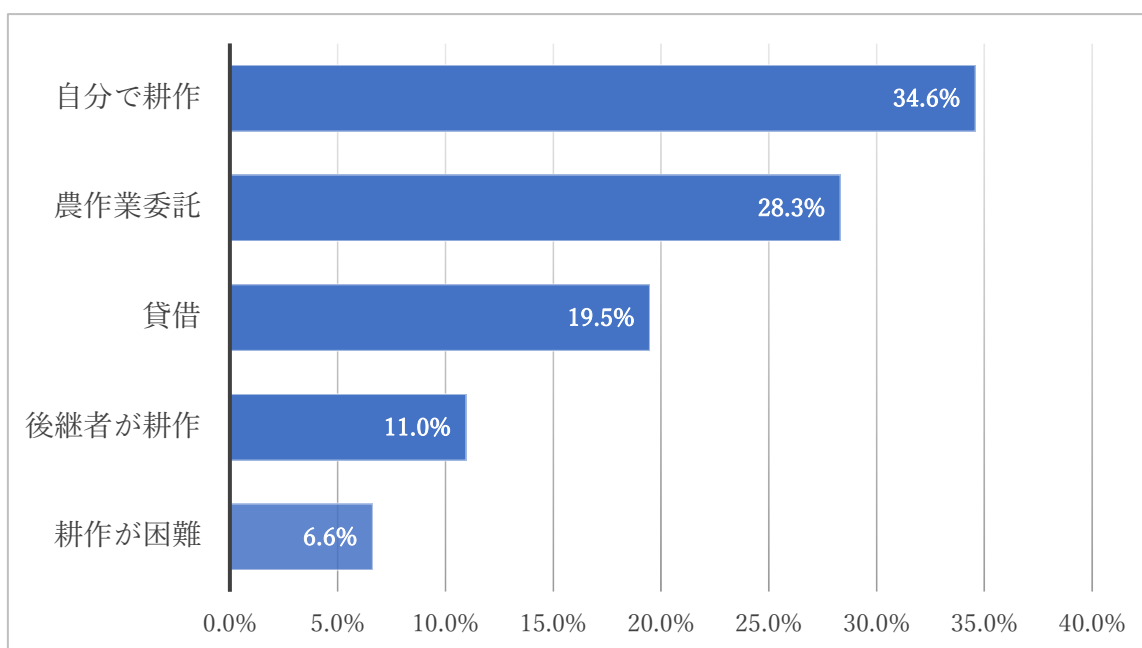
「大規模な農家へ依頼している」が33.6%ともっとも多く、次に「依頼をしていない」が30.4%と多かった。

問3 所有している農地を今後どのようにお考えですか。(総数：5,661)



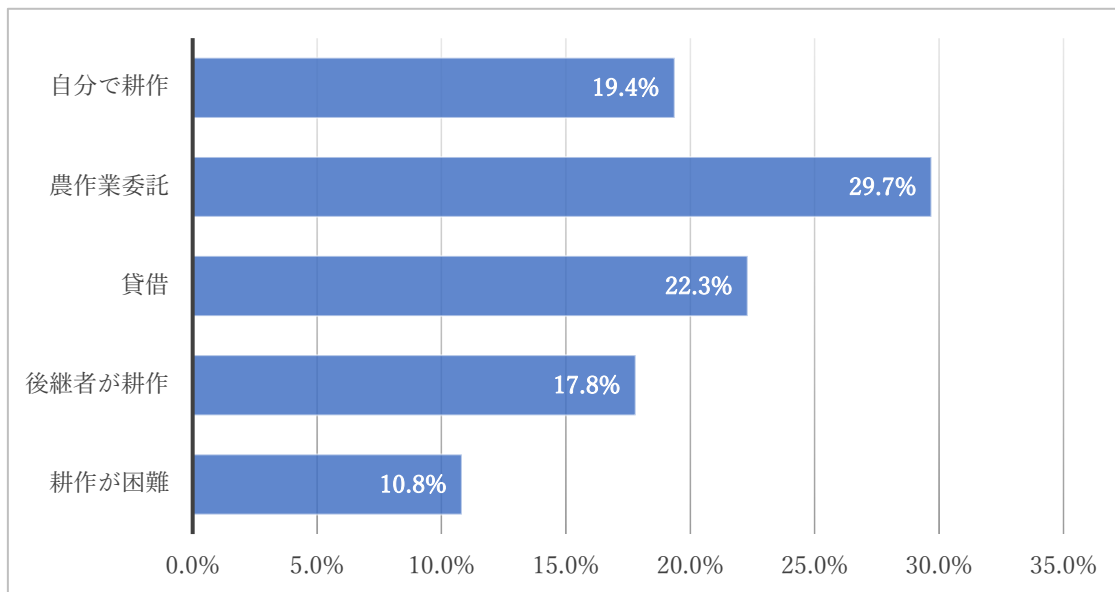
「現状維持」が51.3%と最も多かった一方、「完全に離農して他の農家（地域の農家、親戚等）に任せたい」が合わせて31.8%と3割以上の方が離農を考えている結果となった。

問4-1 5年後の耕作状況は、それぞれどのような見込みですか。(総数：3,767)



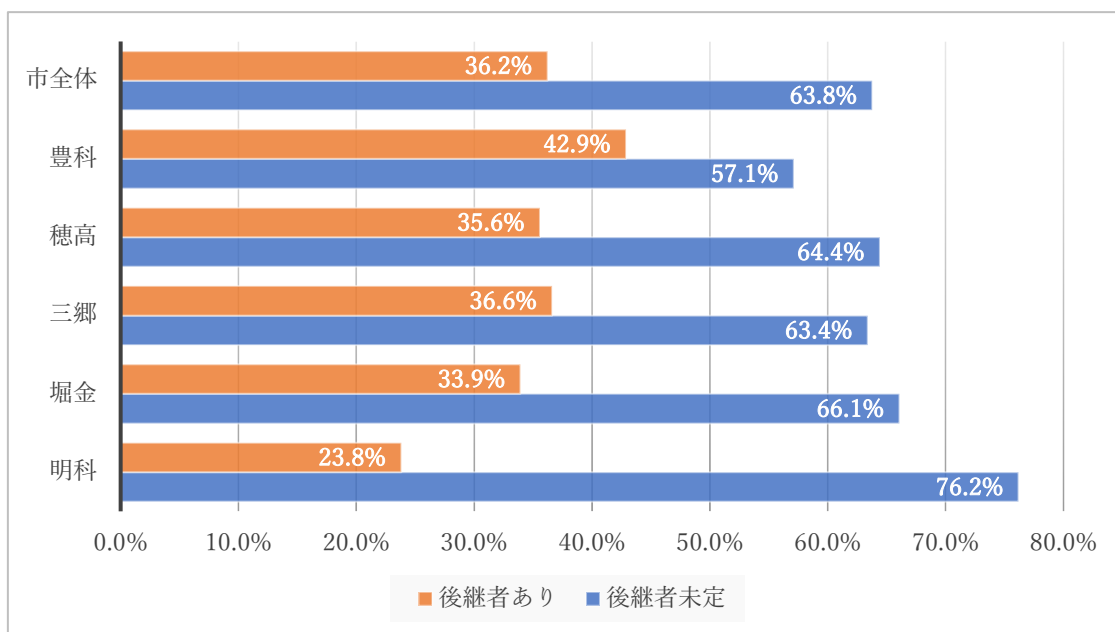
5年後の耕作予定について、「自分で耕作」が34.6%と最も多く、次いで「農作業委託」が28.3%、「貸借」が19.5%となった。「耕作が困難」と回答した方は6.6%であった。

問4-2 10年後の耕作状況は、それぞれどのような見込みですか。(総数：3,640)



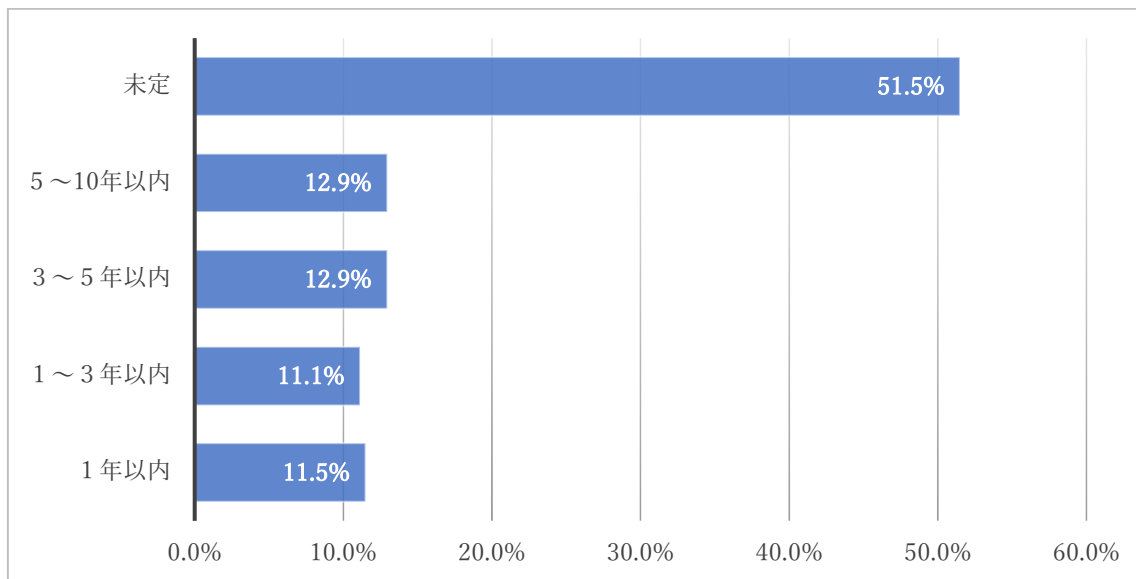
10年後は5年後と比較して、「自分で耕作」の割合が34.6%から19.4%に減少し、「農作業委託」が28.3%から29.7%と微増した。「後継者が耕作」は11.0%から17.8%と増加した。また「耕作が困難」は6.6%から10.8%と増加した。

問5-1 離農して農地を任せる農家が決まっているか。(離農予定者のみ)(総数：2,181)



離農予定者のうち、市全体で6割以上の方が「後継者未定」となっている。地区別では明科地区で後継農家未定の割合が最も高く76.2%だった。

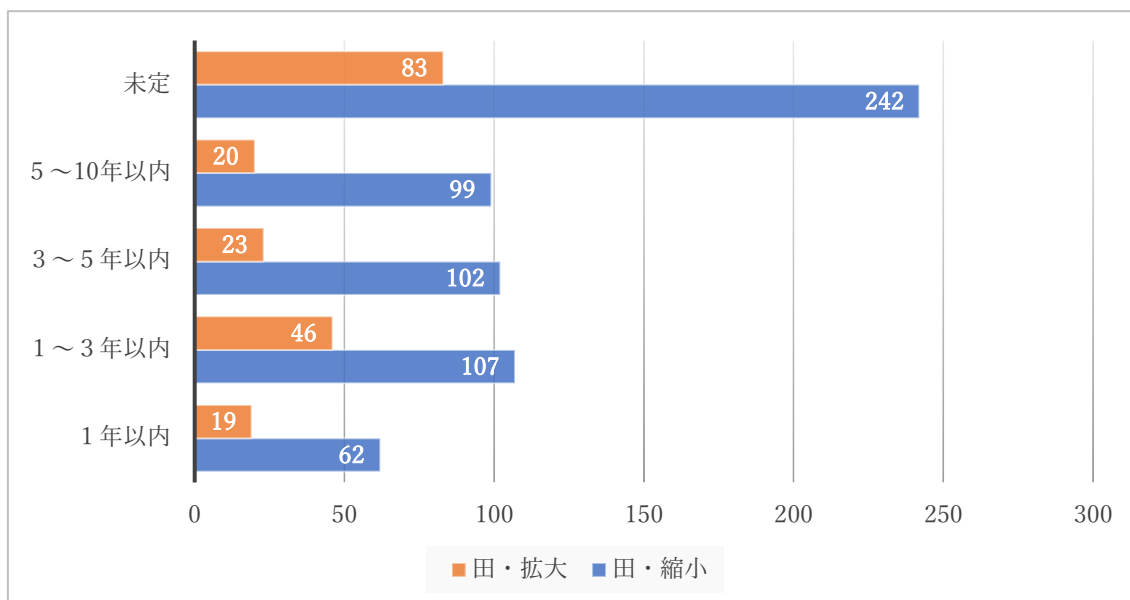
問5-2 離農時期について（離農予定者のみ）（総数：1,977）



離農時期については、「未定」が最も多く50%以上であった。「1年以内」も1割以上おり、10年以内に約半数の方が離農予定であった。

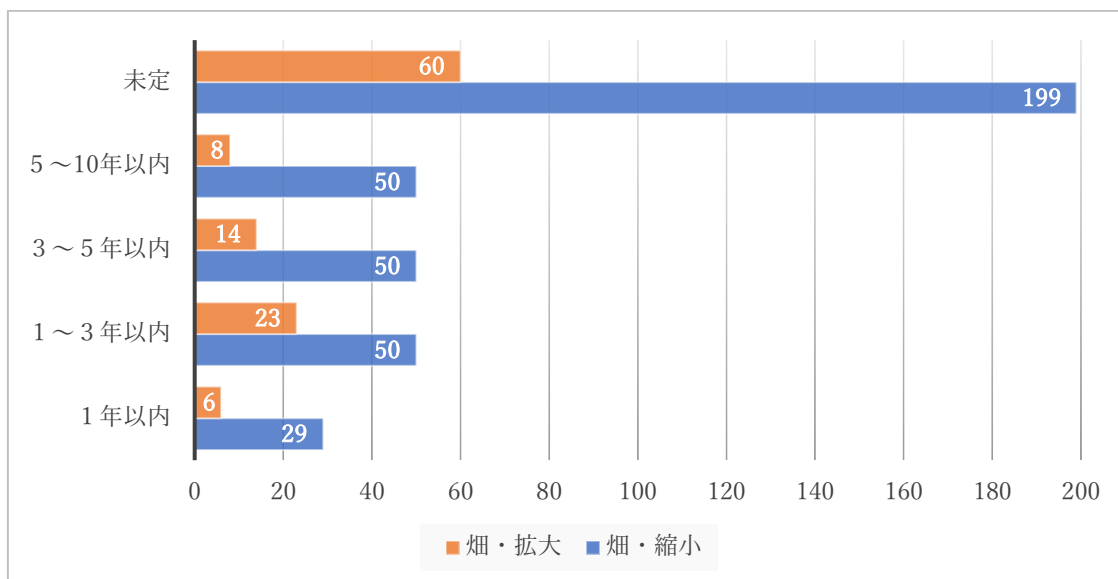
問6 今後、農地の規模をどのくらい「拡大」又は「縮小」したいですか。また、農地中間管理機構から農地を借受希望はありますか、又は農地中間管理機構へ貸付希望はありますか。

(1) 地目・田で規模拡大・縮小希望者および希望時期（総数：803）



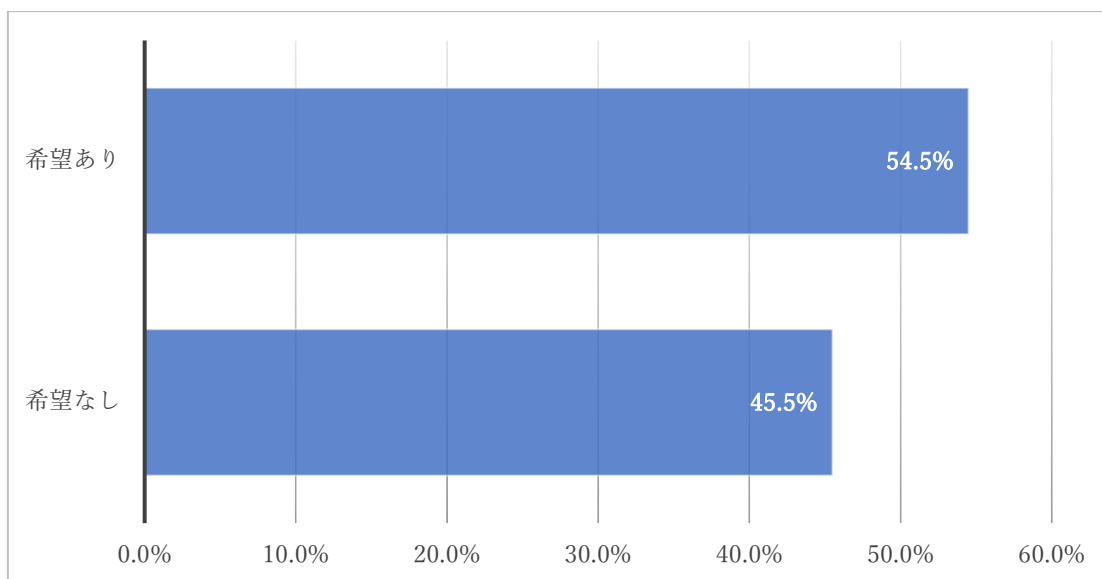
「拡大希望」、「縮小希望」とともに希望時期は未定が最も多かった。またすべての時期で規模拡大件数を規模縮小件数が上回る結果となった。

(2) 地目・畑で規模拡大・縮小希望者および希望時期（総数：489）



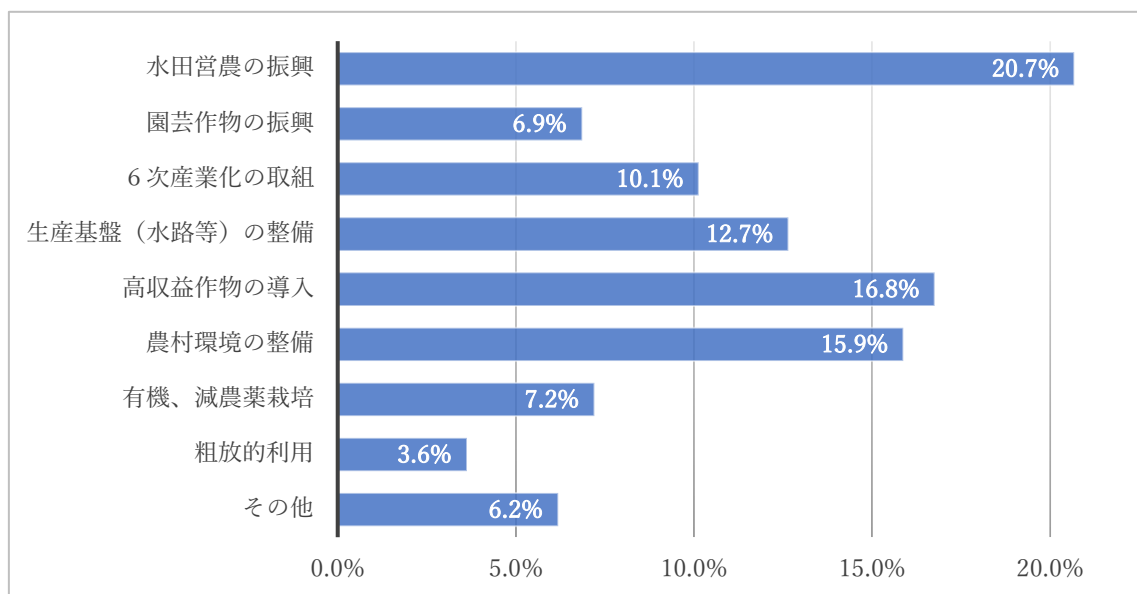
地目田と同様に「拡大希望」、「縮小希望」ともに希望時期は「未定」が最も多かった。またすべての時期で規模拡大件数を規模縮小件数が上回る結果となった。

(3) 農地中間管理機構からの借受又は貸付希望について（総数：876）



農地中間管理機構からの「借受希望」、「貸付希望」は54.5%であった。45.5%の方が「希望なし」との回答であった。

問7 地域の農業を維持するために、農地や営農面で、今後必要な取り組みについて（複数回答可）



「水田営農の振興」、「高収益作物の導入」、「農村環境の整備（鳥獣被害の防止、遊休農地の再生等）」の順で回答が多かった。